

# 令和4年度（2022年度）地域ケア会議 実績一覧

回数	月	日	参加者 (人)	検討内容
1	6	16	14	現在の状態で、介護保険の通所サービスに変わるリハビリ施設があれば、介護サービス料を抑えられる。地域でリハビリできる施設の現状について
				歩行困難ではあるが要支援の為、例外給付で車いすを利用している。今後在宅生活を継続するための支援について
2	7	15	13	本人の判断力が低下し、通所サービスの利用を拒否される。介護者の負担もあるのでサービスに繋がりたいが、本人の意思決定が難しい場合の介入方法について
				独居で親族も高齢となっている。就職歴なく持ち家あり。今後の生活支援について
3	8	16	6	<p>※居宅支援事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護利用者 4名（継続 4名）（真正2名・本巢2名）</li> <li>・介護保険優先ではあるが、限度額を超えてのサービス利用の場合、障害ヘルパーでも利用できるのではないか確認が必要</li> <li>・北部地域で細かく支援してもらえる訪問介護事業所が少ない。</li> </ul>
4	8	26	14	本人や家族に、認知症の自覚がない。家族の一人が家事全般を行っている。今後の支援の仕方について
				本人は独居であり、日常生活において判断を求められる時、なかなか決断できない。ケアマネとしてのかかわり方について
5	9	16	13	施設入居で食事以外は自室で過ごすため、保清や服薬等の確認ができない、活動性の低下等がある。このままではADL等の低下が予測されるため、今後の支援について
				施設から自宅復帰となるが、在宅生活の再開に向けた支援が必要であり、その都度対応している。かかりつけ医がない、頼れる家族がないなど課題がある。今後独居生活を継続するための支援について
6	10	14	6	現在、病院に入院しているが、車いす生活となる。退院後の生活について、本人は自宅で独居生活に戻りたいと希望している。住環境、経済面、医療面など課題が多い。本人の現状と今後の支援について
7	10	17	6	高齢世帯で二人とも軽度認知症があり要介護認定を受けているが、夫が妻に暴力を振るう。今後の支援について
8	10	21	14	介護者が高齢の母で介護力不足。進行性の難病（ALS）で予後に不安がある。今後の支援について
				娘が同居して介護しているが、娘も高齢者で疾患あり無理できない。介護者の娘の状態が悪くなった時の支援について
9	11	10	13	本人だけでなく家族ともに支援が必要であり、今後の対応について関係者で情報共有が必要なケース
10	11	16	7	現在病院に入院している。本人の強い希望もあり、自宅に退院することになるが、実際には経済面、医療面、住環境などから在宅での生活は困難と思われる。今後の支援について

11	12	23	14	介護サービスの利用開始したが、疾患の予防・再発防止、また介護保険卒業に向けた支援について
				ケアマネやヘルパーなどは自宅内に入れないため、自宅内の様子も把握できない。支援者がアプローチしても被害妄想等があり、関わりを拒否している人に対する介入方法について
12	1	11	8	在宅での生活が困難なため、施設を利用している。本人が望むサービスとギャップがあり、今後の対応について関係機関で情報共有が必要なケース
13	1	27	13	身体機能低下等のため、積極的な運動が困難で、本人の状態に合わせたリハビリ指導等が必要と思われるが、本人は現状を希望。自立した生活を継続するための支援について
				通所サービスに誘っても利用を拒否している。認知症による問題行動も見られるが適切な支援に繋がらない。在宅生活を継続する為の支援について
14	2	17	16	歩行能力低下のため、段差が多い住居、身寄りが無い、金銭管理ができていない等様々な課題がある中で、在宅生活を継続するにはどうしたらよいか
15	2	24	7	居宅支援事業所 ・訪問介護利用者 7名（新規 3名、継続 4名）（真正3名、糸貫1名、本巣3名） ・同じ法人内に家族が職員であり、居宅も訪問介護等の事業所も選択されるケース多い。 ・訪問系サービスを1日に数回利用することで在宅生活を何とか維持している。
16	3	2	6	現在病院に入院中。金銭管理ができておらずいろいろと滞納している。貯蓄が無く入院費が払えない。退院後の生活について
17	3	16	12	施設職員やケアマネに暴言を吐くなど施設職員も限界を感じている。本人は在宅生活を望んでいるが、独居生活は難しいと思われる。金銭管理の支援が必要と思われるが、本人が強く拒否して介入できない。今後の対応について関係機関で情報提供が必要なケース
18	3	17	10	視覚障害、被害妄想あり、通院や薬の管理もできていない。様々な課題がある中で独居生活を継続するための支援について
19	3	22	5	家族に金銭管理を任せているが管理できず、滞納があちこちにある。今後入所を検討していきたいが、通帳を家族が預かっており本人のために年金を使えない可能性が高い。今後について

【種類別会議開催回数】

	回	事例件数	参加延人数
自立支援	9	16	121
困難ケース	8	8	63
集中減算	2	11	13
合計	19	35	197

【職種別会議参加人数】

職 種	参加人数	職 種	参加人数
医師	8	歯科医	3
薬剤師	8	理学療法士	9
作業療法士	1	サービス事業所	22
居宅	18	医療コーディネーター	5
行政関係	61	社協	8
権利擁護センター	2	相談支援センター	3
医療ソーシャルワーカー	1	包括	48
合 計			197